

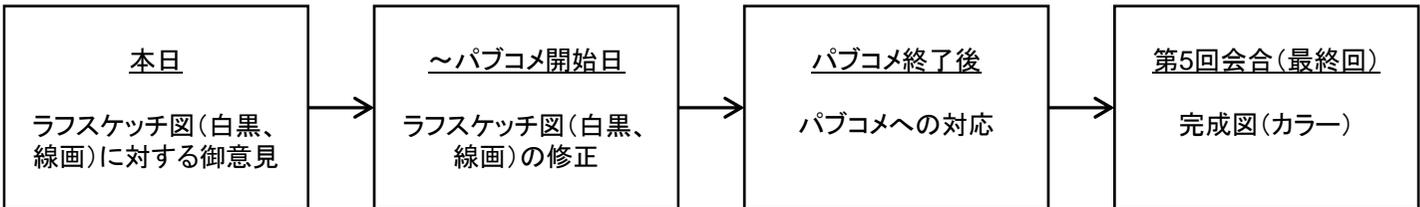
ITS無線システムの利用シーンのラフイメージ(案)

2009年4月17日

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部
社会システムコンサルティング部

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル

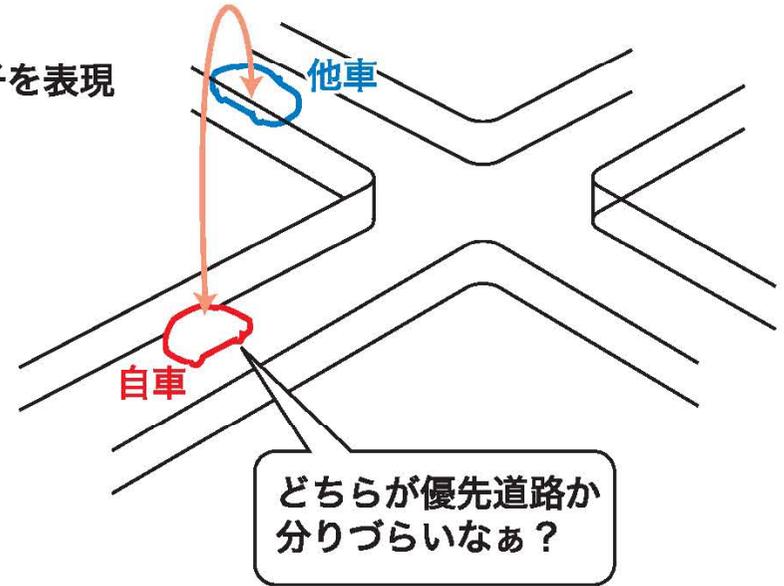
利用シーンのラフイメージ(案)について

<p>作成目的</p>	<p>自動車ユーザーに対し、ITS無線システムの用途と効果を平易に説明し、認知度と受容性を高めることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 技術・システムの説明ではなく、サービスの説明を重視する。 ● 自動車ユーザーであれば、ヒヤリ・ハットした経験が多いと思われる典型的なシチュエーション(道路環境、天候、交通条件など)を設定する。
<p>作成対象</p>	<p>作業班等において優先度が高いと評価された次の5つの利用イメージ図を作成。 ①出会い頭衝突防止 ②追突防止 ③右折時衝突防止 ④左折時衝突防止 ⑤緊急車両情報提供</p>
<p>作成に当たっての参考情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業班等から提供頂いた5つの利用イメージ図の鳥瞰図(システムの動作を説明する図) ● これをもとに実施したドライバーに対するグループインタビュー結果(一般ドライバー、業務ドライバー、運輸ドライバー)
<p>スケジュール</p>	 <pre> graph LR A["本日 ラフスケッチ図(白黒、線画)に対する御意見"] --> B["~パブコメ開始日 ラフスケッチ図(白黒、線画)の修正"] B --> C["パブコメ終了後 パブコメへの対応"] C --> D["第5回会合(最終回) 完成図(カラー)"] </pre>
<p>御意見を頂戴したい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● シチュエーション(道路環境、天候、交通条件など)の妥当性、分かりやすさ ● ドライバーに対する情報提供内容及び提供方法(マンマシンインタフェース)の妥当性

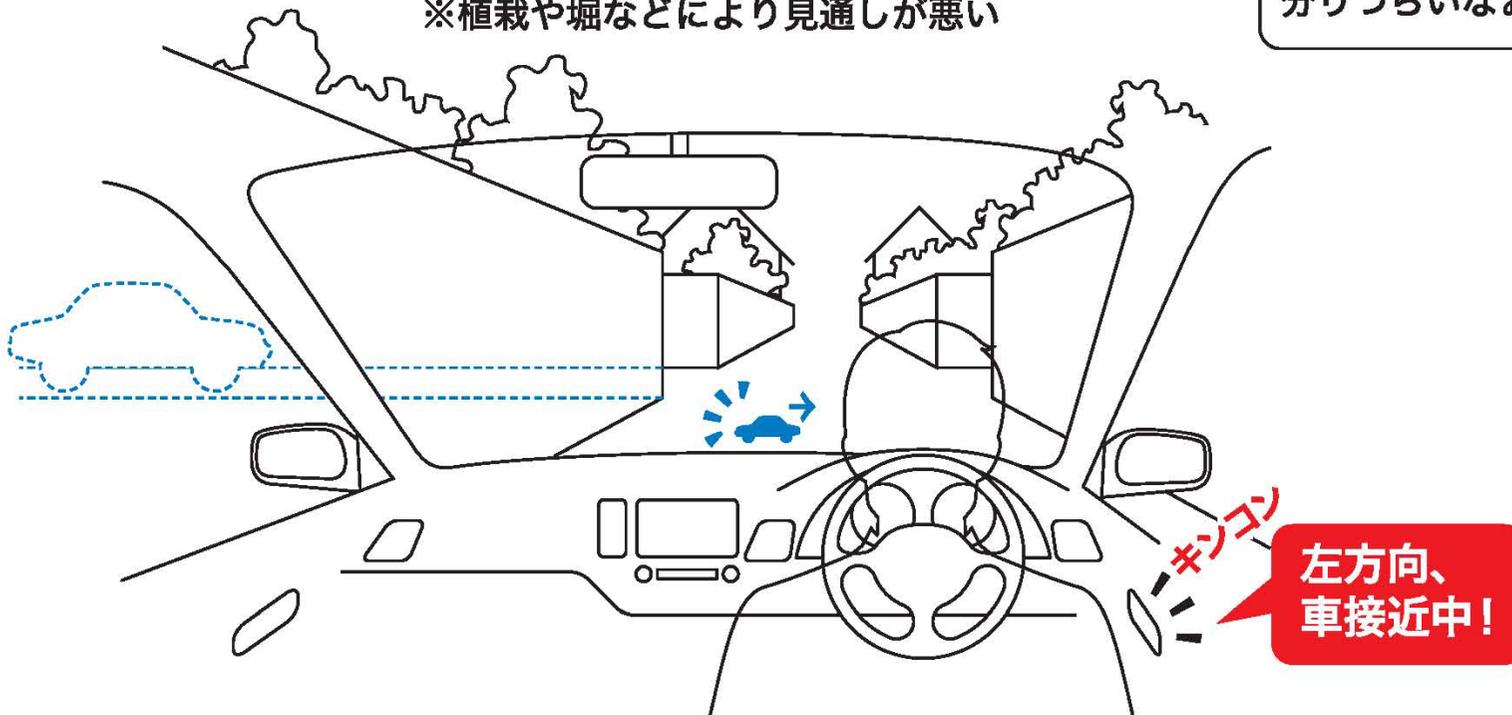
1. 出会い頭衝突防止

—住宅街の狭い路地での出会い頭—

※住宅街の様子を表現

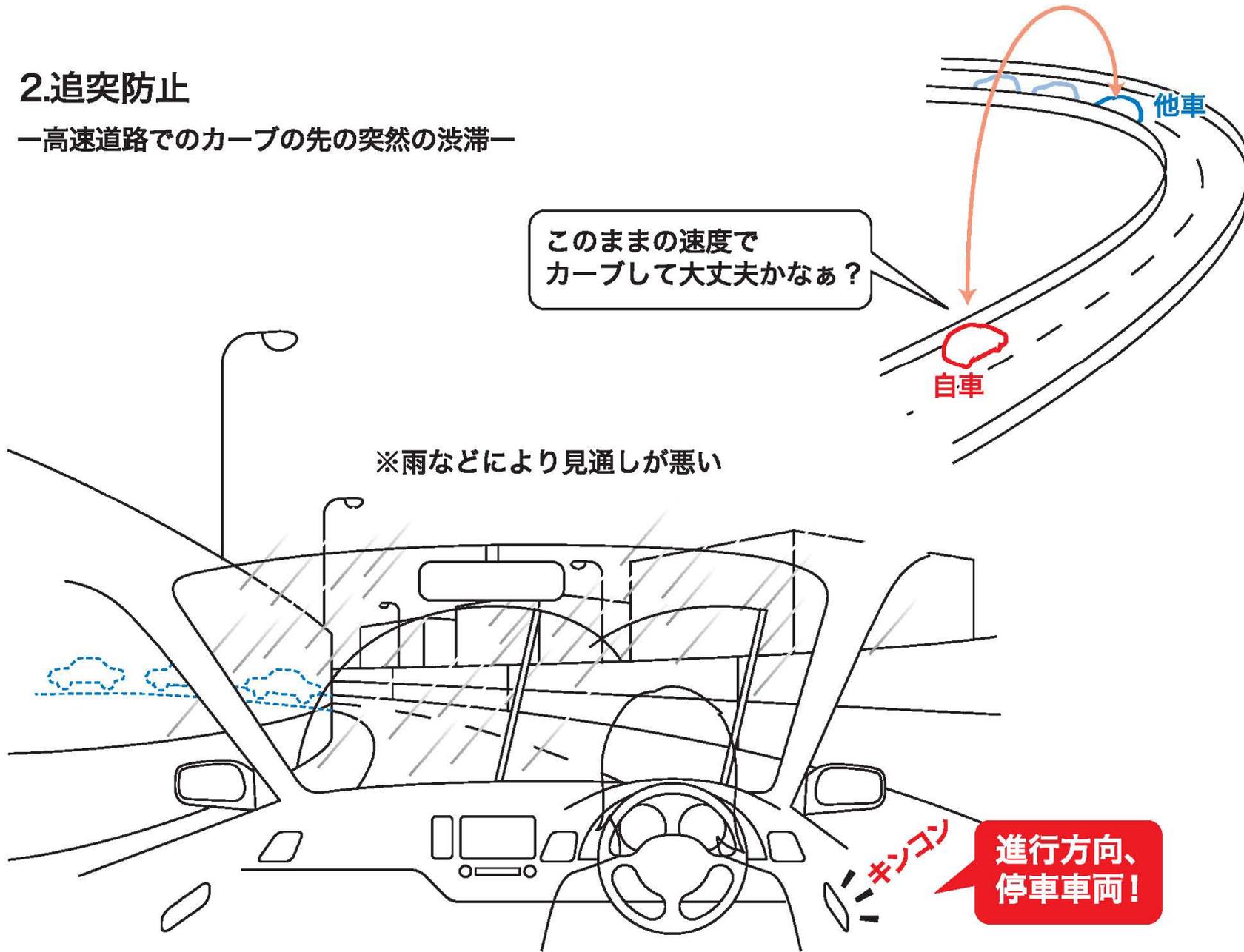


※植栽や堀などにより見通しが悪い



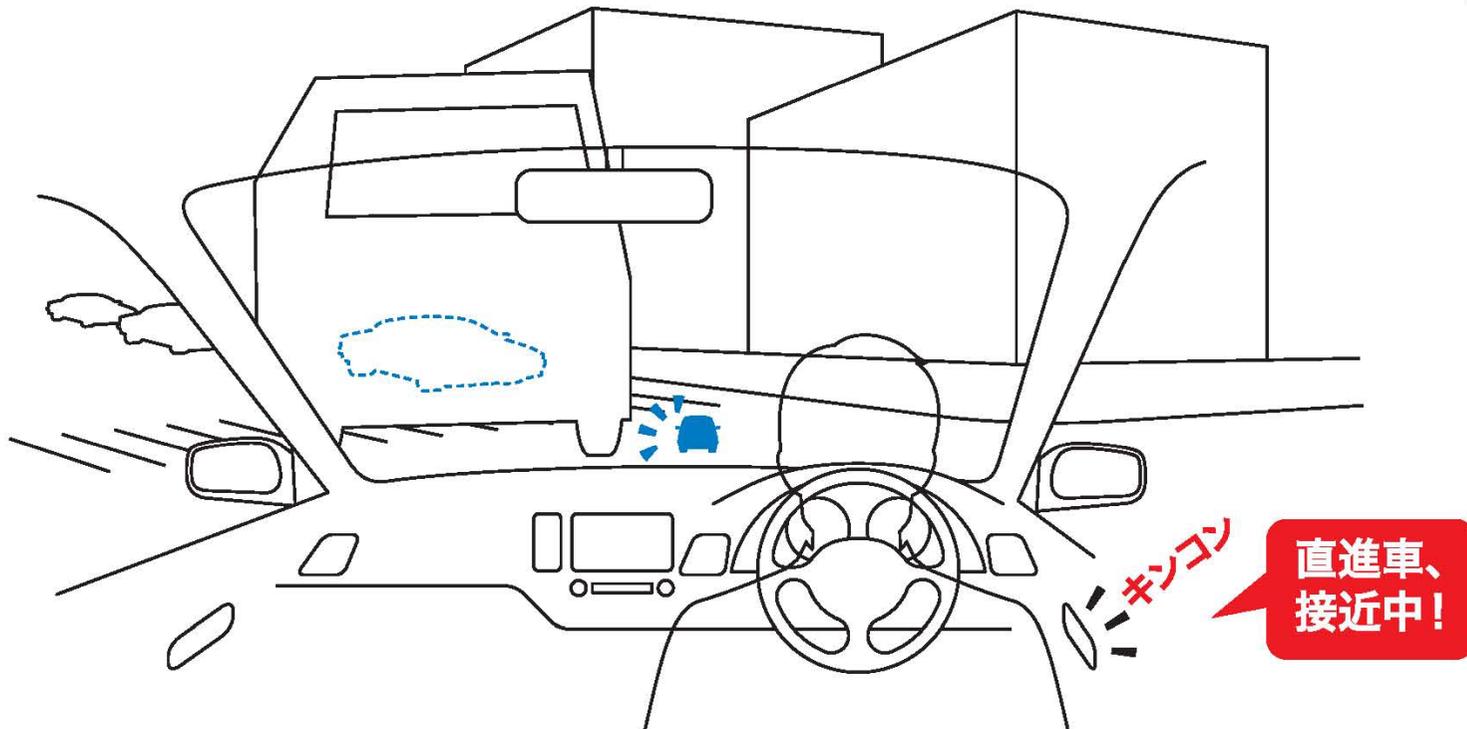
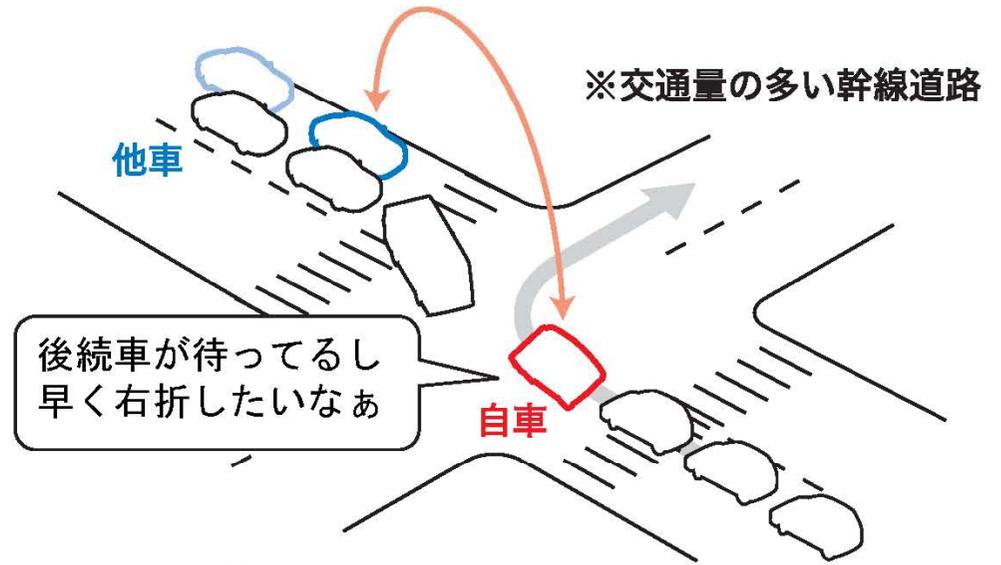
2.追突防止

—高速道路でのカーブの先の突然の渋滞—



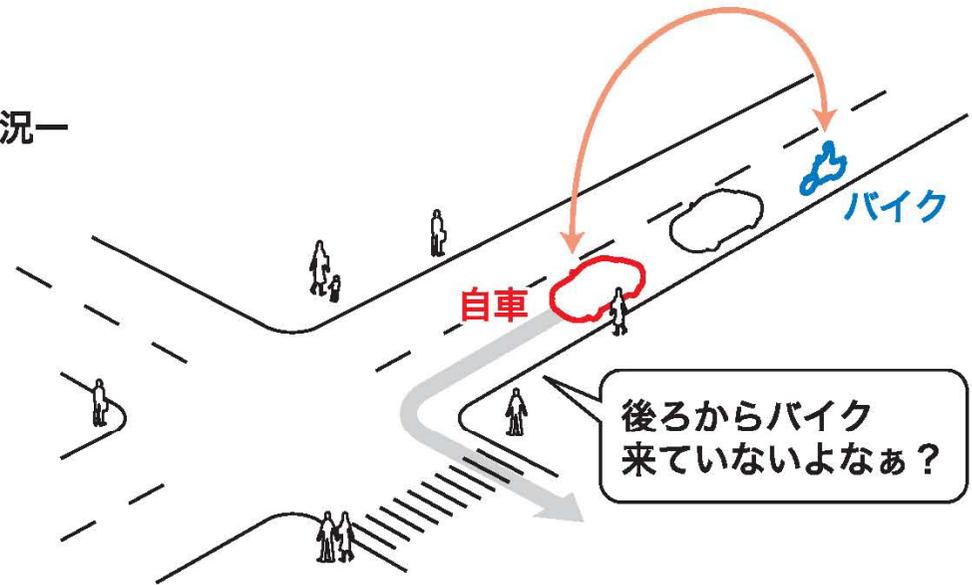
3.右折時衝突防止

一対向車線で右折しようとする大型車の影響で
外側一車線から接近する車が見えづらい状況

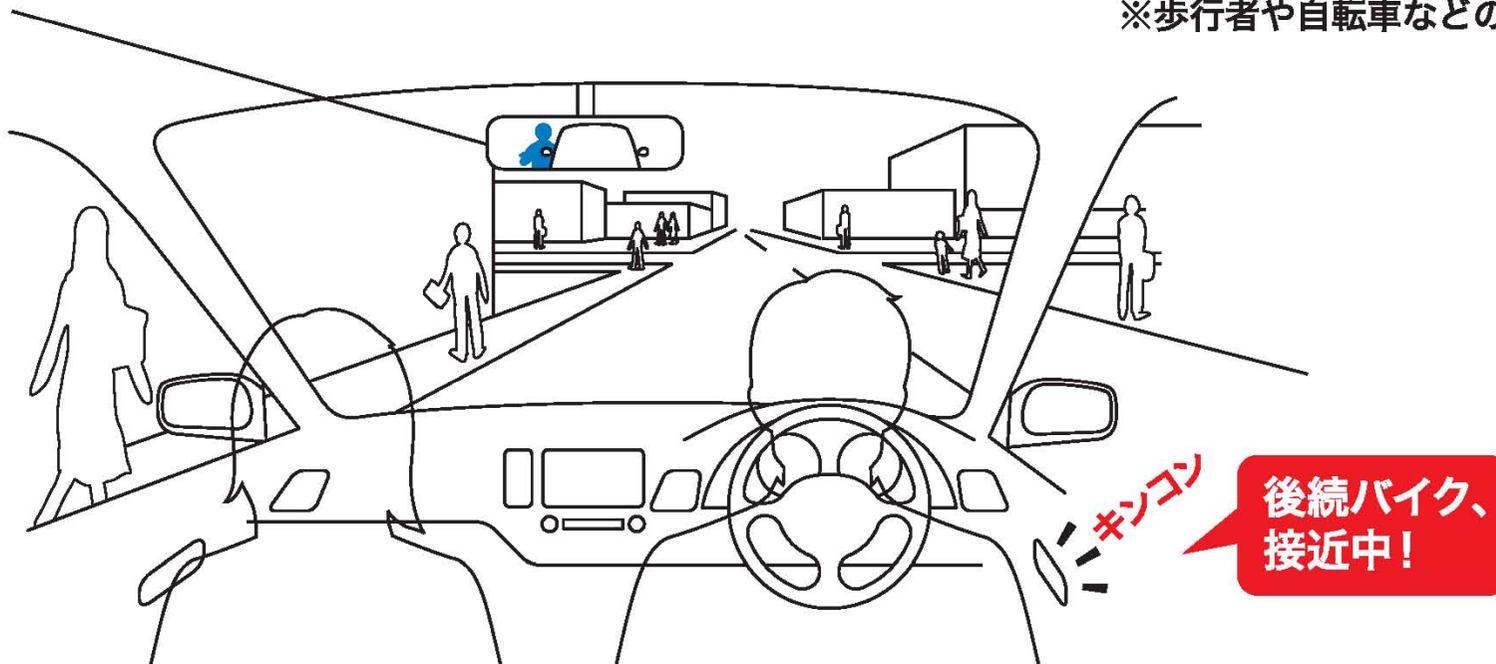


4.左折時衝突防止

—後ろを走るバイクが巻き込まれる可能性がある状況—



※歩行者や自転車などの多い商業地域



5.緊急車両情報提供

—サイレンが聞こえるが自車に関係するかどうか分からない状況—

